



延岡大空襲について学ぶ（6年生）

6月2日に6年生が総合的な学習の時間に延岡大空襲について学びました。講師に夕刊デイリー社の坂本さん、ワイワイテレビの甲斐さんをお招きして、戦時中の延岡の話を詳しく聞くことができました。その中で、わたしたちの恒富地区も大きな被害を受けたことも分かりました。講話の後は、児童が次々と質問をしたり感想を言ったりしていました。戦争や平和、命について考える貴重な学習になったことがうかがえました。



非行防止教室（5年生）

6月15日（水）、5年生が非行防止教室を行いました。講師に延岡警察署の方をお招きして、メディア（SNS）の使い方を考える学習を行いました。「甘い誘いには必ず裏があり、時には犯罪に巻き込まれることもある」「一度 SNS にアップされた情報は二度と消すことができない」など、説明や動画を視聴し、終始、真剣な表情で学習に取り組んでいました。SNS で危険な思いをしなくて済むように学習したことをしっかり守ってほしいと思います。



楽しかった町探検（2年生）

6月16日（木）、2年生が、生活科の学習で、「学校の近くにはどんなお店や建物などがあるか」を見つける町探検をしました。この日は愛宕・伊達地区を歩いて回りました。子どもたちは、見つけたお店などをたくさんメモしていました。6月23日（木）には、北・西地区方面を探検しました。見守りのご協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



【裏面へ続く→】

プール掃除（6年生）

6月16日（木）の午後に、6年生がプール掃除をしました。もうすぐ始まる水泳学習を前に、子どもたちはデッキブラシを手に、プールの中やサイドを一生懸命に磨いてくれました。この日は気温が高く、体に水がかかると子どもたちはうれしそうにしていました。



本日6月28日から水泳学習が始まりました。学習中の子どもたちの安全をより確かなものにするために、保護者の皆様に監視のご協力をこれからもよろしく願いいたします。

友達の作文が新聞に載りました！

好きなことする

新六年 神島 悠人

ぼくは、社会は、くらしにくい方向に向かっていると思います。なぜなら、国語の教科書の総務省統計局の資料の表をみると、平日は、すいみん時間よりも働く時間の方が長いからです。

平成13年は働く人のすいみん時間より、働く時間が34分長くなっています。また、平成28年は58分も長くなっていることが分かります。

つまり、働く時間よりも、すいみん時間が短くなっているということになります。すいみん時間が短くなると、働く人は大変だと思います。だから、ぼくは、社会はくらしにくい方向に向かっていると思います。

そこで、ぼくは、くらしやすくする方法を考えました。このごろ、お母さんがつかれているからです。ぼくは、社会をくらしやすくするには、心を落ちつかせることが大切だと思います。例えば、ストレスを和らげる食べ物を食べたり、テレビを見たり、好きなことをする時間を作ったりすることが大切だと思います。そうすれば、社会はくらしやすくなると思います。お母さんも元気になると思います。



【令和4年4月2日宮崎日日新聞】

また会いたいな

新五年 岩瀬 はる香

今年は、コロナで延岡へ帰ってこれなかったお婆さんが久しぶりに帰ってきました。

私は、お婆さんのことをみきちちゃんとおんでいます。みきちちゃんは、明るくておしゃべりが好きでやさしいので大好きです。

私が学校から帰ると、おしゃべりをしたり、いっしょに遊んでくれたりしました。いつもは親に怒られてばかりですが、この時だけは怒られなかったです。

お母さんも、みきちちゃんがいると、子どもたちが言うことを聞くし、怒らなくてすむので気持ちになると言っていました。

みきちちゃんが帰る日は、私は悲しくて何回も泣いてしまいました。コロナがおさまって、またみきちちゃんに会えるといいなと思います。



【令和4年4月3日宮崎日日新聞】

【文責：鈴木 泰昌】